

## 地域公共交通ネットワークの維持・確保に向けて

青森県持続可能なバス交通ネットワーク再編に向けたワーキング会議では、これまで、広域的・幹線的バス路線の再編、交通拠点での乗継改善による運行の効率化や利便性向上に向けた協議を進め、具体の改善に取り組んできました。

しかしながら、今般の新型コロナウイルス感染症の拡大により、広域的・幹線的バス路線のみならず、鉄道や船、タクシーなども含めた地域公共交通全般の利用者が大幅に減少し、地域公共交通の担い手である交通事業者の自助努力だけでは事業継続が危ぶまれる状況となっており、このままでは住民の生活に大きな影響が生じる恐れがあります。

各交通事業者は、換気・消毒等の感染防止策を実施して、安心して利用していただくための環境づくりに取り組んでおり、県・市町村においても、連携・協調しながら、利用促進や財政的支援に取り組むとともに、こうした状況が全国共通の喫緊の課題との認識の下、国に対して、交通機能の維持・確保策の実施、地方の取組に対する財政措置、国庫補助制度の改善や柔軟運用等を働きかけてきたところです。

こうした状況を踏まえ、当ワーキング会議は、交通事業者、県、市町村がそれぞれの役割の下で更に連携・協調し、国の施策とも連動しながら新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響に対処し、地域全体の地域公共交通ネットワークを維持・確保していくことを確認します。

令和2年7月29日

青森県持続可能なバス交通ネットワーク再編

に向けたワーキング会議

座長 吉田 樹